

「こども・子育て政策」において 地方に求められる役割

（15分間発表）

しばた はるか
柴田 悠

京都大学大学院人間・環境学研究科教授（社会学）



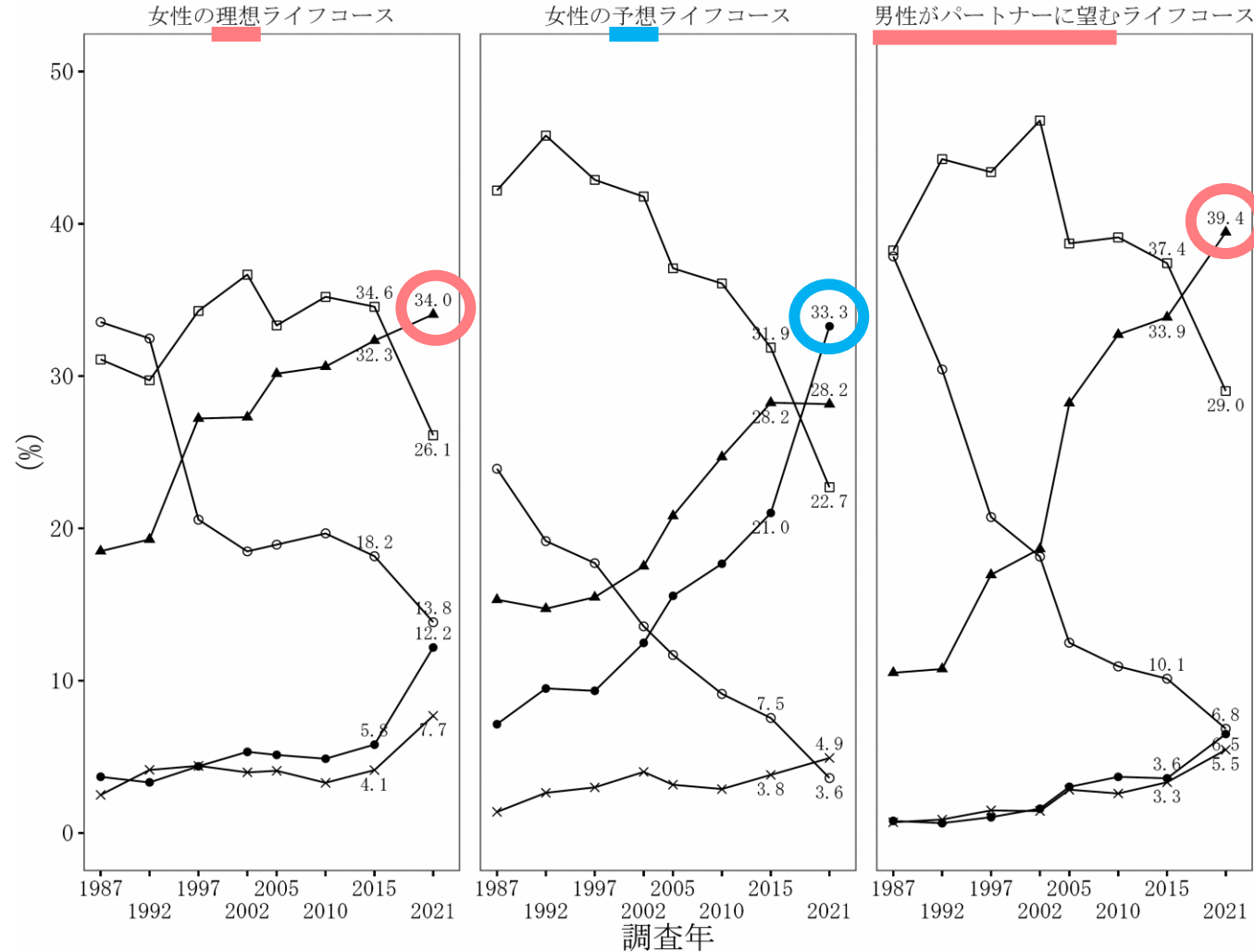
「持続可能な社会」のための「地方の役割」

- ① 地方の「若い女性」が、都市部に移住している。
- ② ゆえに、地方で結婚が生じにくい。
- ③ 都市部では、地価が高く、「車」も「保育」も使いにくく、子育てしにくい。子どもはせいぜい「1人」がやっと。少子化しやすい。
- ④ 日本全体が「結婚・育児しやすい持続可能な社会」になるには、地方が「若い女性にとって生きやすい・働きやすい場所」になる必要がある！
- ⑤ 全ての知事が、「この地域を、若い女性（あるいは若者）にとって魅力的な地域にします！」と明示的に宣言・実践すべき！
 - 一. 「女は家庭」などの固定的な価値観を押しつけない。「多様な価値観」を認める（ことを条例化する）。（次ページ参照）
 - 二. 女性にとって「育児と両立できる」「魅力的な」雇用・働き方を増やす。（次ページ参照）
 - 三. 若い女性にとって魅力的な「街づくり」。（ヒアリングする）

(重要) 若い未婚女性の

理想：「結婚・出産するが退職せず仕事を続けたい！」（両立コース）

現実：「両立は無理なので結婚をあきらめる」（非婚就業コース）



- 非婚就業コース
- × DINKsコース
- ▲ 両立コース
- 再就職コース
- 専業主婦コース

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「第16回出生動向基本調査」（2021年）

注：対象は18～34歳の未婚者。
「その他」「不詳」の割合は省略。

めざすのは「人々が幸せに生きられる社会」： ・幸福やウェルビーイングの要因を、社会的・政策的要因も含めて10年以上研究 ・日本経済新聞 2023年1月4～16日連載「幸せに生きるために」



『日本経済新聞』2023年1月4日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために①

京都大学准教授 柴田 悠

「幸せに生きるために」の連載が始まりました。今回は、幸せに生きるための第一歩として、幸せの定義について考えてみたいと思います。幸せの定義は、人によって異なります。しかし、幸せに生きるためには、いくつかの共通の要素があります。それは、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現です。これらの要素をバランスよく満たすことが、幸せに生きるための鍵となります。

幸福感がもたらすメリット

幸福感がもたらすメリットは、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。幸福感が高い人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。幸福感が高い人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

『日本経済新聞』2023年1月10日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために⑤

京都大学准教授 柴田 悠

「生きがい」を持つ重要性は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。生きがいがある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

「生きがい」を持つ重要性

「生きがい」を持つ重要性は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。生きがいがある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

『日本経済新聞』2023年1月5日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために②

京都大学准教授 柴田 悠

「幸せに生きるために」の連載が始まりました。今回は、幸せに生きるための第二歩として、幸せの定義について考えてみたいと思います。幸せの定義は、人によって異なります。しかし、幸せに生きるためには、いくつかの共通の要素があります。それは、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現です。これらの要素をバランスよく満たすことが、幸せに生きるための鍵となります。

簡単に実践できる3つの方法

簡単に実践できる3つの方法は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

『日本経済新聞』2023年1月12日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために⑦

京都大学准教授 柴田 悠

「両立支援と寛容さが大切」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。両立支援と寛容さがある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

両立支援と寛容さが大切

「両立支援と寛容さが大切」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。両立支援と寛容さがある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

『日本経済新聞』2023年1月6日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために③

京都大学准教授 柴田 悠

「追いつめると陥る『落とし穴』」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。追いつめると陥る『落とし穴』がある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

追いつめると陥る『落とし穴』

「追いつめると陥る『落とし穴』」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。追いつめると陥る『落とし穴』がある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

『日本経済新聞』2023年1月13日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために⑧

京都大学准教授 柴田 悠

「早期保育が高める幸福感」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。早期保育がある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

早期保育が高める幸福感

「早期保育が高める幸福感」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。早期保育がある人は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

『日本経済新聞』2023年1月9日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために④

京都大学准教授 柴田 悠

「長い目で考え、他者にも配慮を」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。長い目で考え、他者にも配慮をすることは、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

長い目で考え、他者にも配慮を

「長い目で考え、他者にも配慮を」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。長い目で考え、他者にも配慮をすることは、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

『日本経済新聞』2023年1月16日朝刊掲載

やさしい経済学

幸せに生きるために⑨

京都大学准教授 柴田 悠

「日本の課題を解決する方策」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。日本の課題を解決する方策は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

日本の課題を解決する方策

「日本の課題を解決する方策」は、健康、収入、人間関係、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。日本の課題を解決する方策は、健康寿命が長くなり、収入が増え、人間関係が良くなり、自由、安全、環境、そして、自己実現の向上に繋がります。

「幸せな社会」の条件①：「人々の寛容さ」

- ① 「**幸せだ**」という回答の割合で比べると、**日本人**は、世界88カ国・地域の中の26位で、OECD加盟32カ国の中では12位（1～3位はアイスランド、ノルウェー、スウェーデン）。つまり**中程度**。
- ② あらゆる測り方において、安定して**幸福感が高いのは「北欧」**。
世界価値観調査（2017～22年実施）（世界人口の94%が母集団）
- ③ なぜ北欧では人々の幸福感が高いのか？
- ④ 世界56カ国・地域の1981～2007年の調査データの分析によれば、「**多様な生き方に対する人々の寛容さ**」「**社会の民主化の度合い**」「**一人当たりGDP**」が高まると、「**自分の人生の選択に対する人々の自由の感覚**」が高まり、それらによって「**人々の幸福感**」が高まる。
- ⑤ その「**人々の幸福感**」を高める効果は、「一人当たりGDP」や「民主化度」の高まりよりも「**人々の寛容さ**」の高まりのほうが、はるかに（2.8倍及び2.5倍も）**大きかった**。

「幸せな社会」の条件②：「私生活と仕事の両立支援」

- ① 欧米18カ国の調査データの分析によれば、政府や企業による**両立支援**（**私生活と仕事の両立**を支援する社会制度：**フレックスタイム・有休・育休**など）が充実した諸国では、「育児に伴う幸福感の低下」が見られないとともに、全ての人々の幸福感が（他の諸国と比べて）有意に高い（次頁の図）。
- ② これは、両立支援が「育児と仕事の両立」のみならず「私生活と仕事の両立」全般を支援する制度であるため、例えば**「友人関係と仕事の両立」**や**「趣味と仕事の両立」**や**「持病と仕事の両立」**等をも支えるから。
- ③ そして、両立支援が最も充実した諸国は、北欧諸国。
- ④ 北欧の人々が幸せなのは、「私生活を守る両立支援」が充実しているとともに、**お互いの多様な私生活を守るべく**高い税率を許容して両立支援を高く維持できるほどに**「お互いの多様性に寛容」**だから。

「幸せな社会」の条件②：「私生活と仕事の両立支援」

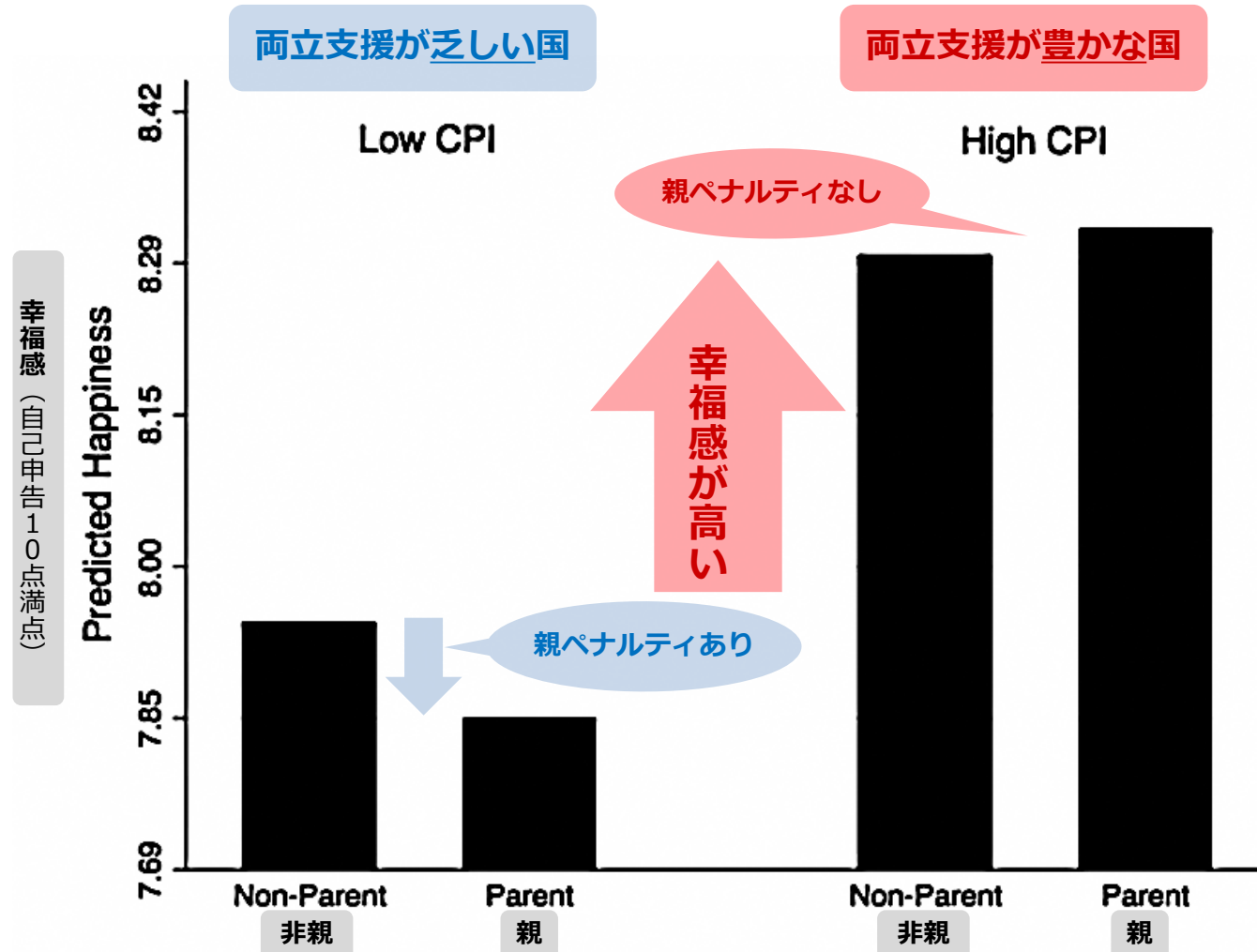


Figure 2. Estimated Happiness (1-10 scale) for Parents and Non-Parents with Comprehensive Policy Index, Source: ESS and ISSP, 2004-2007^a

^aAll control variables at the individual and country level are held at their sample mean

「幸せな社会」の条件（まとめ）

「幸せな社会」の条件

人々の寛容さ

私生活と仕事の
両立支援

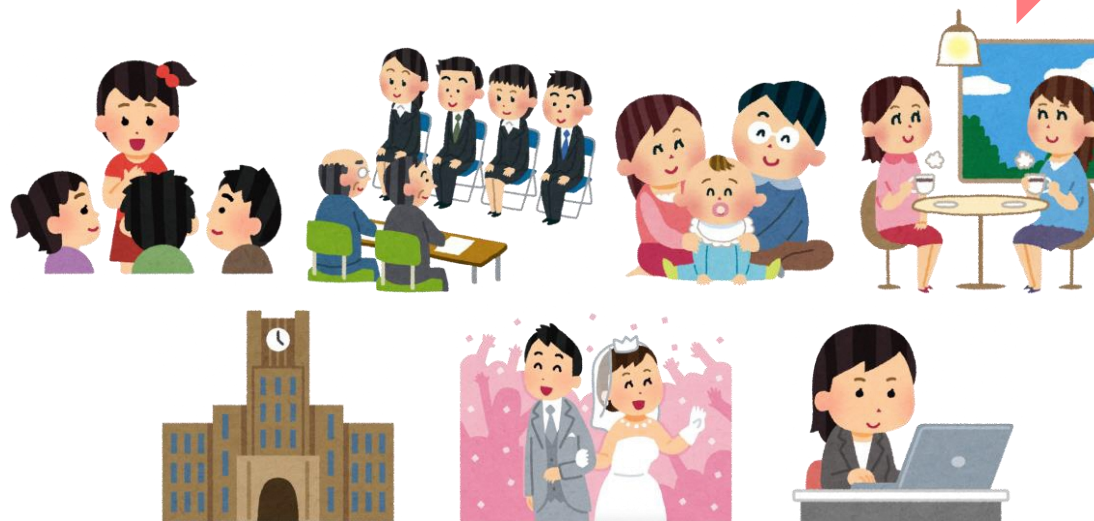
↑
地方でも
これらの実現を！

(参考) 柴田の研究【概要】

1～2歳での保育通園



30年後



30代での生活状況・人間関係



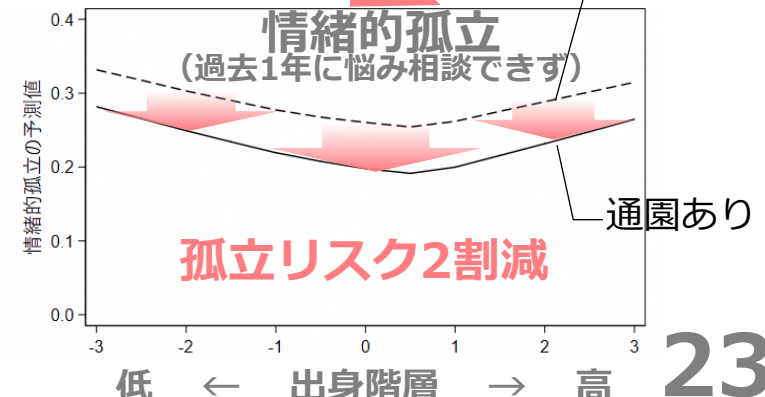
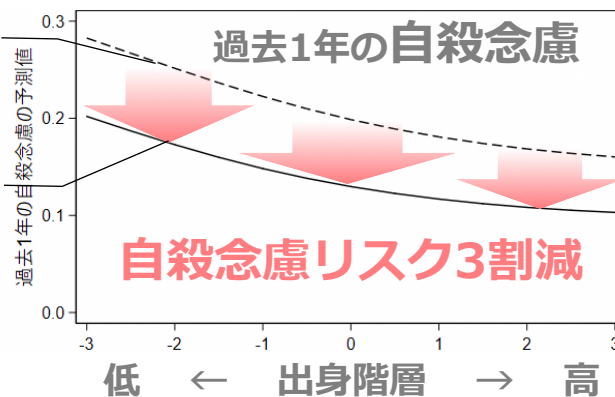
女性

男性

1～2歳保育は重要！

通園なし

通園あり



虐待予防教育： 大阪市立・田島南小学校「生きる教育」

- ✓ 大阪市立・生野南小学校（現・田島南小学校）の「生きる教育」（2014年度開始。のちに田島中学校と連携して小中9年間の「国語教育＋包括的性教育」）
<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671493&frame=frm58ec2db3bd210>
- ✓ 文部科学省・令和3年度「学校における生命（いのち）の安全教育推進事業」委託先の一つ
- ✓ 生野南小学校・研究部長・小野太恵子先生：
- ✓ 「2011年頃は、窃盗・恐喝・暴行事件が同時並行で起こっている傍らで、児童が窓のひさしや屋根に上り、……聞こえていたのは、おたけびや泣き声……。教師が物を取りに教室から少し離れて戻ってきたら、児童が血を流していた。教室で刃物やコンパスが飛んでいた。校区では、親から虐待されて育った児童が多かった（全児童の3割）」。

虐待予防教育： 大阪市立・田島南小学校「生きる教育」

- ✓ 生野南小学校・校長・木村幹彦先生：

「かつて本校では、荒れる子どもたちの実態がありました。そして、その現実に追われ、子どもたちのために、学校に何ができるのかを暗闇の中で、手探りで探しているという状態でした。…そうして、分かったことが、自分の思いを伝えることができる子どもを育てることが第一だということでした」

「そこで、平成26年度から国語科指導の工夫、研究を始めました。…自分の意見を持ち、グループで交流して自分の意見が認められる。全体で交流して他者の意見にも耳を傾け、自分の意見が磨かれていきました。自己肯定感の低さの根底にあるアタッチメント理論に着目し、「自分」「赤ちゃん」「子ども」「異性・同性への関心」「親子関係〔児童虐待など〕」等、子どもたちにとって一番身近にありながら、心の傷に直結しやすいテーマで「『生きる』教育」（いのちの学習）を実践しました」

虐待予防教育： 大阪市立・田島南小学校「生きる教育」

【中3】社会の中の「親」と「子」

【中2】リアルデートDV ～支配と依存～

【中1】思春期の脳 ～トラウマ・アタッチメント～

【小2・3・4】
治療的教育
ライフストーリーワーク

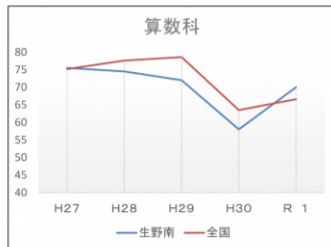
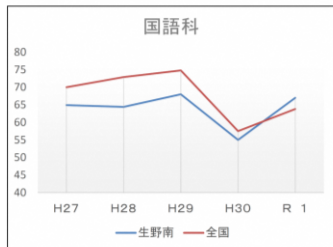
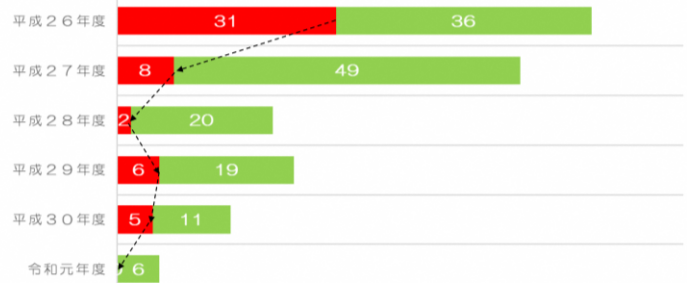
【小5・6】
予防教育
デートDV・子ども虐待

【小1】心身のプライベートエリア



【要医療件数】

■ 対人関係 ■ 不注意



①大阪府平均比較 (全市平均) ※全市土口 (各教科全市との差×教科別受験人数)の和の÷受験人数

教科	3年	4年	5年	6年	平均
国語	(68.8) 63.2 ⇒ -5.6	(72.3) 73.3 ⇒ +1.0	(68.3) 68 ⇒ -0.3	(63.8) 74.8 ⇒ +11.0	+0.83
社会	(66.5) 60.5 ⇒ -6.0	(68.2) 71.6 ⇒ +3.4	(55.0) 60.4 ⇒ +5.4	(62.7) 73.6 ⇒ +10.9	+2.9
算数	(68.1) 68.3 ⇒ +0.2	(68.1) 74.2 ⇒ +6.1	(58.2) 68 ⇒ +9.8	(73.2) 81.6 ⇒ +8.4	+6.07
理科	(61.8) 57.1 ⇒ -4.7	(53.2) 51.7 ⇒ -1.5	(69.2) 68.5 ⇒ -0.7	(55.1) 58.6 ⇒ +3.5	-1.2
平均	-4	+2.3	+3.6	+8.5	全市平均+1.97

②各学年標準化得点経年比較 (昨年度数値) ※昨年度土口 (同一分母集団の各教科の受験児童数で伸び率の平均値を算出)

教科	3年	4年	5年	6年	平均
国語	97.8	(102.8) 100.5 -2.3	(98.1) 97.8 +1.7	(102.7) 105.5 +2.8	+0.62
社会	97.1	(99.9) 101.8 +1.9	(96.6) 102.6 +6.0	(103.1) 105.3 +2.2	+3.68
算数	100.1	(101.5) 103.0 +1.5	(100.2) 104.8 +4.6	(104.6) 104.3 -0.3	+2.21
理科	97.6	(100.4) 99.2 -1.2	(97.7) 99.6 +1.9	(100.4) 101.7 +1.3	+0.7
平均	98.1	(101.1) 101.5 +0.4	(98.1) 103.5 +5.4	(102.7) 104.7 +2.0	昨年度同一集団+2.59

③国語科「書く力」「読む力」 (全市数値) ※全市土口

教科	3年	4年	5年	6年	平均
書く力	(53.6) 40.9 ⇒ -12.7	(53.3) 51.8 ⇒ -1.5	(59.4) 58.1 ⇒ -1.3	(66.7) 82.2 ⇒ +15.5	全市平均-1.04
読む力	(67.7) 63.1 ⇒ -4.6	(77.0) 72.1 ⇒ -4.9	(70.8) 71.2 ⇒ +0.4	(60.3) 68.3 ⇒ +8.0	全市平均-0.76
同一分母経年比較					
書く力	(+12.1) -0.4 ⇒ -12.5	(+11.6) +18.9 ⇒ +7.3	(+16.5) +13.7 ⇒ +7.2	昨年度同一集団+0.6	
読む力	(+12.5) +7.2 ⇒ -5.3	(+12.7) +8.3 ⇒ +4.4	(+4.5) +5.5 ⇒ +10.0	昨年度同一集団+3.2	

④算数科「思考力」「技能」 (全市数値) ※全市土口

教科	3年	4年	5年	6年	学校平均
思考力	(57.8) 57.1 ⇒ -0.7	(62.0) 58.0 ⇒ -4.0	(43.7) 51.6 ⇒ +7.9	(63.7) 72.6 ⇒ +8.9	全市平均+5.38
技能	(65.6) 58.6 ⇒ -7.0	(67.4) 74.3 ⇒ +6.9	(64.0) 74.9 ⇒ +10.9	(78.8) 88.1 ⇒ +9.3	全市平均+7.24
同一分母経年比較					
思考力	(+3.2) +10.3 ⇒ +7.1	(-18.9) -5.5 ⇒ -13.4	(+20.3) +23.2 ⇒ +2.9	昨年度同一集団+8.4	
技能	(-1) +0.3 ⇒ +1.3	(-4.6) +0.7 ⇒ -4.3	(+11.9) +10 ⇒ -1.9	昨年度同一集団+2.7	